

電気文化会館プレミアムセミナー

共催：電気文化会館（中電不動産株式会社）

PREMIUM

特別対談

家康伝説の ウソ・ホント



撮影：今井一詞

- 講師 静岡大学名誉教授 小和田哲男
歴史研究家 小和田泰経
- 受講日 5月26日（金）
13:00～14:30
- 受講料 3,355円（税込）
- 会場 電気文化会館5階 イベントホール
※地下鉄伏見駅4番出口から東へ徒歩2分



2023年の大河ドラマ『どうする家康』では、弱弱しかった家康が成長していく過程を描いています。こうした弱弱しい家康像というのは、これまでの大河ドラマでは描かれてきませんでした。江戸時代に神として崇められた家康は、生まれたときから人並はずれた器量があり、必然的に天下人になったとされてきたからです。もちろん、こうした伝説は、実際のところ真偽がわかりません。桶狭間の戦い後や本能寺の変後には家康が自害しようとしたとの伝説があり、大坂夏の陣の直後には家康自身が討ち死にしてしまったというような伝説まであります。このような伝説の真偽を追究するとともに、家康とはどのような武将であったのかについて楽しく語り合います。

【講師プロフィール】

- 小和田哲男 1944年静岡県生まれ。静岡大学名誉教授。専門は日本中世史、特に戦国時代史。（公財）日本城郭協会理事長、静岡県地域史研究会会長、岐阜関ヶ原古戦場記念館館長などを務める。1972年、早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了。2009年、静岡大学を定年退職。主な著書に『徳川家康 知られざる実像』（静岡新聞社）、『家訓で読む戦国 組織論から人生哲学まで』（NHK出版新書）など多数。2023年NHK大河ドラマ『どうする家康』の時代考証を務める。YouTube「戦国・小和田チャンネル」を配信。
- 小和田泰経 1972年東京生まれ、静岡育ち。歴史研究家。國學院大學大学院文学研究科博士課程後期退学。現在、静岡英和学院大学講師。専門は日本中世史。戦国時代の武将・城郭・甲冑・刀剣に詳しい。主な著書に『家康と茶屋四郎次郎』（静岡新聞社）、『天空の城を行く』（平凡社）、『ずかん武具』（技術評論社）など多数。2023年NHK大河ドラマ『どうする家康』に資料提供として参加している。

詳細は下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

※受講料には維持管理費が含まれています。 ※一部の講座の受講料には音楽著作権使用料が含まれています。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
※お申込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

登録料
不要



QRコード
から簡単
申し込み!



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-36 久屋中日ビル7F

☎0120-53-8164

10:00～19:00（日曜日は17:00まで）